

		計画時の想定		現時点での状況（変更点）	分析
			備考		
事業効果の定量的分析	費用便益分析	* 計画時点では費用便益の分析手法が確立されておらず算出していない。	<ul style="list-style-type: none"> 具体的な便益内容 走行時間の効果 （走行時間の短縮） 走行経費の効果 （時間短縮による走行経費の削減） 交通事故の減少 受益者：道路利用者 	<ul style="list-style-type: none"> B / C = 3 . 5 4 便益総額 B = 1 9 2 . 3 4 億円 総費用 C = 5 4 . 2 8 億円 費用便益分析マニュアル（平成15年8月：国土交通省道路局、都市・地域整備局）により算出 	
	その他の指標（代替指標）	<ul style="list-style-type: none"> 混雑度 交通量 			
事業効果の定性的分析	安全・安心	<ul style="list-style-type: none"> 現道の交通混雑解消による安心、安全性の向上 	<ul style="list-style-type: none"> 受益者 地域住民、道路利用者 	<ul style="list-style-type: none"> 現道の交通混雑解消による安心、安全性の向上 災害発生時の緊急輸送路、避難路の確保（原発特措法に基づく位置付け） 	
	活力	<ul style="list-style-type: none"> 地域間交流連携の強化 地域開発の促進、物流の効率化の増大 	<ul style="list-style-type: none"> 受益者 地域住民、道路利用者 	<ul style="list-style-type: none"> 変更点特になし 	
	快適性	<ul style="list-style-type: none"> 交通混雑解消による、道路利用者の大幅な運転効率の向上 	<ul style="list-style-type: none"> 受益者 道路利用者、地域住民 	<ul style="list-style-type: none"> 変更点特になし 	
	その他				
自然環境等への影響と対策		市街化区域を通る路線であるため、ヒートアイランド現象への対策として歩道を透水性舗装にしている			
その他特記すべき事項		<p>早期に事業効果を発揮するため、平成15年度末に、泉佐野市・熊取町界から町道芦谷線までの550mの区間において、既に現道の狭隘部分を拡幅し、車輛が離合出来るよう暫定的に整備済。（歩道は未整備）</p> <p>また、町道芦谷線から府道泉佐野打田線までの350mの区間においては平成22年度末暫定2車線で供用予定。</p>			